

氏名	井上和久	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	基礎・神経・運動器・生活環境支援（地域・予防）理学療法、教育・管理				
学位	学士（社会学）、博士（医学）				
学歴	1995年高知リハビリテーション学院理学療法学科・佛教大学社会学部社会福祉学科卒業、2013年東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科リハビリテーション医学（博士課程）修了				
経歴	1995年田無病院、1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2014年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	（公社）日本理学療法士協会、（公社）埼玉県理学療法士会、臨床歩行分析研究会、理学療法科学学会、日本義肢装具学会、日本地域理学療法学会（副理事長）、日本予防理学療法学会（評議員）				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	地域理学療法学の方向性とマインドを理解する ビルドアップ地域理学療法	共著	あり	医歯薬出版株式会社、全148	編集：隆島研吾・田中康之、井上担当頁：18-23、69-71	2021.9	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Stanford A 型急性大動脈解離に対する上行弓部大動脈置換術後に重度対麻痺を発生した脊髄梗塞の歩行再建の一例	共著	あり		理学療法－臨床・研究・教育、29巻、p40-44	小野塚雄一、井上和久	2022.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	初発脳卒中片麻痺者における長下肢装具の膝継手の違いがカットダウンに与える因子の特徴	共同		第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会、新潟県（Web）	○小野塚雄一、秋山智美、卯原由貴、井上和久	2021.9	
2	BMIと体組成との相関について－第2報－	共同		第8回日本予防理学療法学会学術大会、Web	○井上和久、小野塚雄一、丸岡弘、原和彦	2021.11	
3	Wallenberg症候群に対しSling exercise therapyが運動失調およびバランス障害の改善に寄与した一例	共同		第30回埼玉県理学療法学会、Web	○小野塚雄一、井上和久	2022.1	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	理学療法症候障害論（博士後期課程）		2	主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義「運動器障害(下肢)におけるバランス機能と介入効果」を実施した。また、「義肢装具装着の運動学的評価法」についても参画した。			
2	リハビリテーション学特別研究Ⅱ（博士前期課程）		38	修士研究に関する研究・論文指導について、Webおよび対面で実施した。			
3	義肢・装具学実習		2	作業療法学科の授業：義肢・装具学実習「体幹・下肢装具について」担当。主に授業は、Webによるプレゼンテーションで実施した。			
4	リハビリテーション看護		1	看護学科の授業：リハビリテーション看護「運動機能障害に対する基本的動作の回復・維持」担当。主に授業は、Webによるプレゼンテーションで実施し、理学療法の概要・車椅子・装具等の現物を元に講義を行った。			

5	看護学概論		1	健康開発学科の授業：看護学概論「障害に応じた装具の使用と移動能力の改善」担当。主に授業は、Webによるプレゼンテーションで実施し、車椅子・装具・杖等の現物を元に講義を行った。
6	日常生活活動分析学	○	8	主に授業は、Webによるプレゼンテーション講義を実施し、体験学習（対面での車椅子乗車・介助）も実施した。
7	義肢装具学		4	主に授業は装具について講義し、Webによるプレゼンテーションで実施した。
8	生活環境支援理学療法学	○	7	主に授業は、生活環境における講義をプレゼンテーションし、学生が実習で担当した事例を元に生活環境支援について志向した。また、簡易型SHBについて各自作製を行った。
9	理学療法応用技術学A(予防・老年)	○	8	主に授業は、プレゼンテーション講義を実施し、一部後半はWebによるプレゼンテーション講義を実施した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	理学療法症候障害演習（博士後期課程）		3	主に授業は、Webによる演習「装具の運動学的・運動力学的研究法」を実施した。また、「義肢装具に関する研究論文の今日的課題」についても参画した。
2	理学療法セミナー（OSCE2）		3	SPを利用し、模擬的課題をもとに4名の学生評価を行い、フィードバックを行った。
3	理学療法セミナーⅠ（OSCE1）		3	SPを利用し、模擬的課題をもとに7名の学生評価を行い、フィードバックを行った。
4	理学療法セミナーⅡ（OSCE2）		3	SPを利用し、模擬的課題をもとに6名の学生評価を行い、フィードバックを行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅰ		2022.2.21～ 2022.3.11	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価の実践について確認・指導した。また、実習終了後報告会を実施した。
2	臨床教育実習Ⅱ		2021.9.27～ 2021.11.12	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
3	臨床教育実習Ⅲ		2021.4.19～ 2021.6.18	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
4	臨床教育実習Ⅳ		2021.6.21～ 2021.8.6	学外での臨床教育学習を通じて、理学療法の評価・治療の統合化を促進した。学生に対しては、学習方法の指導や実習中の悩みや解決方法などの対応を行った。また、実習終了後報告会を実施しフィードバックを行った。
5	IPW実習		2021.4～ 2021.10	IPW科目責任者会の学生担当としてガイダンス・オリエンテーション1・2の準備・運営を実施した。また、地域担当教員（埼玉南①）として、4施設6チームを担当し、報告会等の準備・運営を実施した（Web）。
6	義肢装具学実習		24	授業において、実習形式で行い、義足・装具について、模擬義足体験や簡易型SHB作成などを実施した。また、切断者（4名）モデルの方に来ていただき、断端評価や義足評価を8グループに分かれ実施した。
7	日常生活活動指導実習	○	24	PCによるプレゼンテーション講義と6グループに分かれ疾患別の日常生活指導の実技を実施した（対面、一部講義はWeb）。また、介護福祉機器展示場に行き、介護福祉機器の説明を実施した。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2021.4～2021.12	主指導 3名 副指導 名
2	修士論文		2021.4～2022.3	主指導（指導教員） 1名 副指導（指導補助教員） 2名

(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	担当ゼミの打ち合わせ	2021.4～2022.3	1年生2名、2年生2名、3年生3名、4年生3名、計10名の担当ゼミ生について打ち合わせを行った（年数回）。また、3年生については卒業研究に向けて打ち合わせ・研究指導等を実施した（10コマ）。	
2	水戸メディカルカレッジ：装具学・義肢学講義	2021.4～2022.1	装具学・義肢学の講義（Web、一部実技は対面）について実施した（30コマ）。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学 一般公開講座（Web）	埼玉県立大学	健康のために取り組む生活習慣病の対策	2021.5
2	令和3年度埼玉県立大学理学療法学科臨床教育実習受入施設対象講習会（Web）	埼玉県立大学	臨床実習における指導方法（教育・管理）－学生・CV・SVとの関わり方－	2021.8
3	2021年度埼玉県立大学IPE総合過程（Web）	埼玉県立大学	IPWの実践報告	2021.8～2021.12
4	2021年度埼玉県立大学多職種連携基礎研修（Web）	埼玉県立大学	専門職連携実践が求められる背景とチームワークの考え方	2022.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本理学療法士学会	日本地域理学療法学会：常任運営幹事	2016.4～2021.6	
2	日本理学療法士学会	日本予防理学療法学会：運営幹事	2016.4～2021.6	
3	（公社）日本理学療法士協会	研究安全・学術倫理委員会 委員	2019.6～2021.6	
4	（公社）日本理学療法士協会	研究安全・学術倫理委員会倫理審査部会 審査員	2019.7～2021.6	
5	（公社）日本理学療法士協会	代議員	2020.6～現在	
6	（公社）日本理学療法士協会	議事運営委員	2020.6～現在	
7	埼玉県総合リハビリテーションセンター	講師（入院患者及び外来患者に対する理学療法訓練の指導・助言等）	2021.4～2022.3	
8	（公社）埼玉県理学療法士会	第30回埼玉県理学療法学会：運営局オンライン担当部長	2021.4～2022.3	
9	（一社）日本運動器理学療法学会	第9回日本運動器理学療法学会学術大会：演題査読	2021.5	
10	（一社）日本循環器理学療法学会	第5回日本循環器理学療法学会学術大会：演題査読	2021.5	
11	（一社）日本地域理学療法学会	理事（副理事長）	2021.6～2022.6	
12	（一社）日本理学療法学会連合	研究安全・学術倫理委員会 委員	2021.6～2022.6	
13	（一社）日本理学療法学会連合	研究安全・学術倫理委員会倫理審査部会 審査員	2021.6～2022.6	
14	（一社）日本予防理学療法学会	評議員	2021.8～2025.7	
15	（一社）日本理学療法学会連合	財務委員会：委員長	2021.6～2022.6	
16	（一社）日本地域理学療法学会	第8回日本地域理学療法学会学術大会：演題査読	2021.8～2021.9	
17	（公社）埼玉県理学療法士会	第30回埼玉県理学療法学会：演題査読	2021.9	
18	（一社）日本予防理学療法学会	編集委員	2021.9～現在	
19	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第13回学術集会：事務部	2021.12～現在	
20	（一社）日本予防理学療法学会	日本予防理学療法学会雑誌 投稿論文査読（3編）	2021.12～2022.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員	2021.4～2022.3	
2	学科等における委員会等	ヒューマンケア実習室担当者	2021.4～2022.3	
3	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携を学ぶ講座実施部会	2021.4～2022.3	
4	学科等における委員会等	学科会議	2021.4～2022.3	

5	学科等における委員会等	学科業務会議：司会	2021.4～2022.3
6	学科等における委員会等	1年生副担任	2021.4～2022.3
7	全学的委員会及びセンター業務等	IPW科目責任者会：学生担当	2021.4～2022.3
8	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター 教育企画部門	2021.4～2022.3
9	学科等における委員会等	臨床実習指導者講習会 準備・運営	2021.4～2022.3
10	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター ヒューマンケア実習室管理部会	2021.4～2022.3
11	学科等における委員会等	専門職公開講座担当	2021.4～2022.3
12	学科等における委員会等	学科活動費教育費担当	2021.4～2022.3
13	学科等における委員会等	備品管理担当	2021.4～2022.3
14	学科等における委員会等	入試委員会	2021.9～2022.3
15	全学的委員会及びセンター業務等	入試（推薦・共通テスト・後期）	2021.11～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		